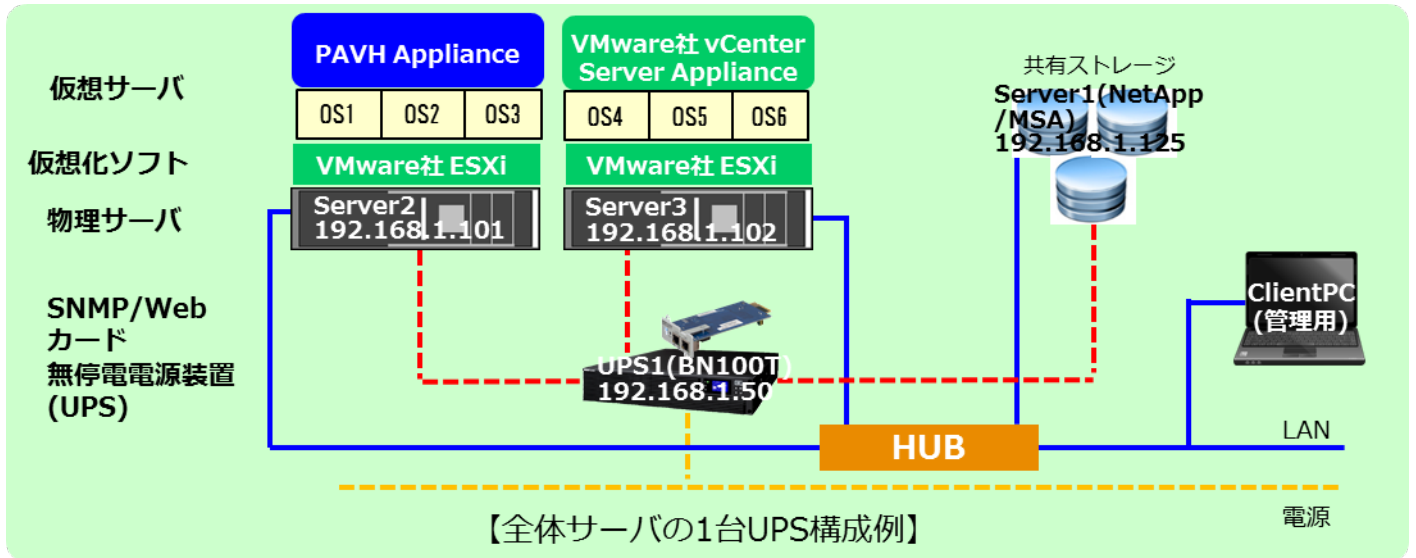


オムロンUPS & PAVHA 構成図一覧

1. 構成図 1



▼構成の概要

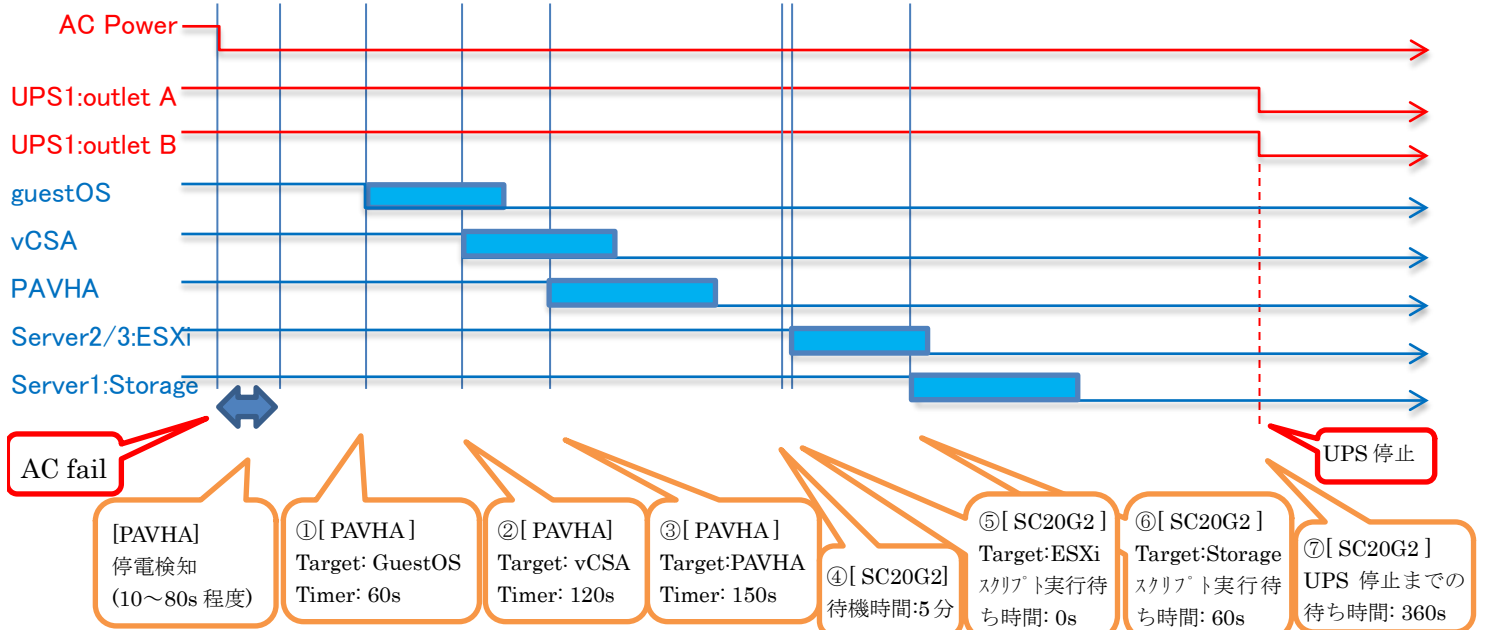
ESXiホスト2台とストレージを1台のUPS電源で構成。UPS1台の一番簡単な構成で省スペース。

▼構成図の説明

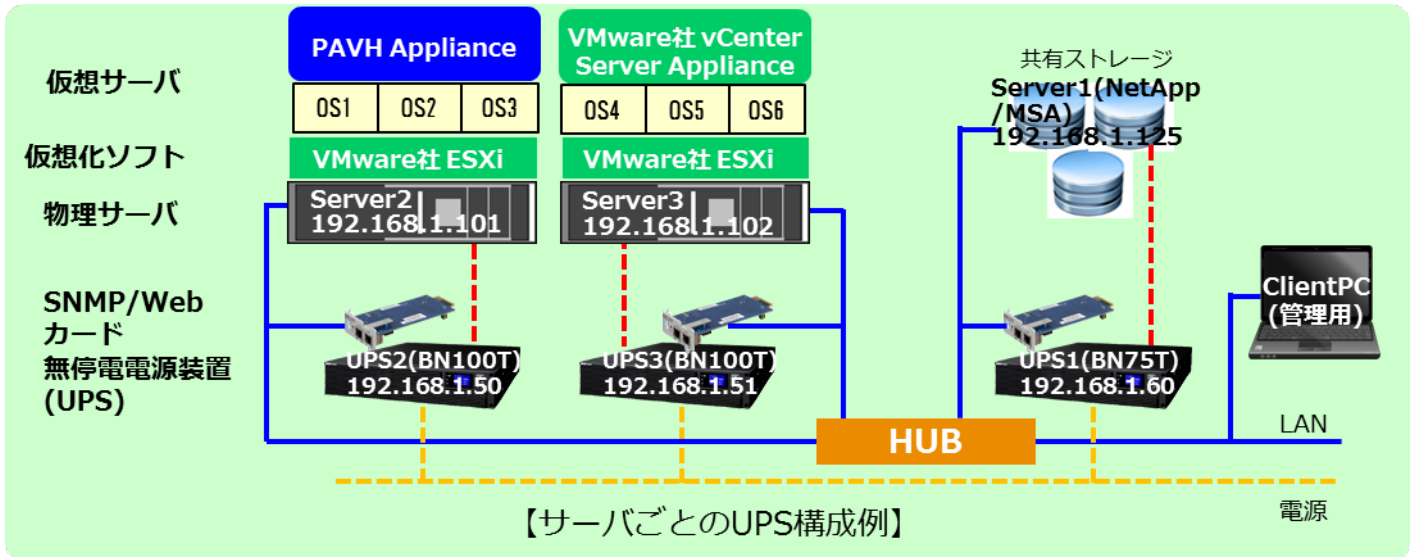
- ・AC電源の停電発生時にストレージを含む本構成全体をシャットダウンする。
- ・停電発生後、PAVHAがゲストOS、vCenter Server Appliance(以下、vCSAと記)、PAVHAの順にシャットダウンし、その後SC20G2がESXiホスト、ストレージの順にシャットダウンする。なお、シャットダウンの順番についてはPAVHAとSC20G2のタイマーで時間差を設定する。
- ・UPSは再起動時に時間差を設ける必要があるので、出力コンセント制御ありでサーバ3台の負荷容量をサポートする機種選定が必要。(出力コンセントA:ストレージ、B:ESXiを接続する。)

▼動作シーケンス図

◆タイミングチャート(AC電源の停電発生によるスクリプトシャットダウン)



2. 構成図 2



▼構成の概要

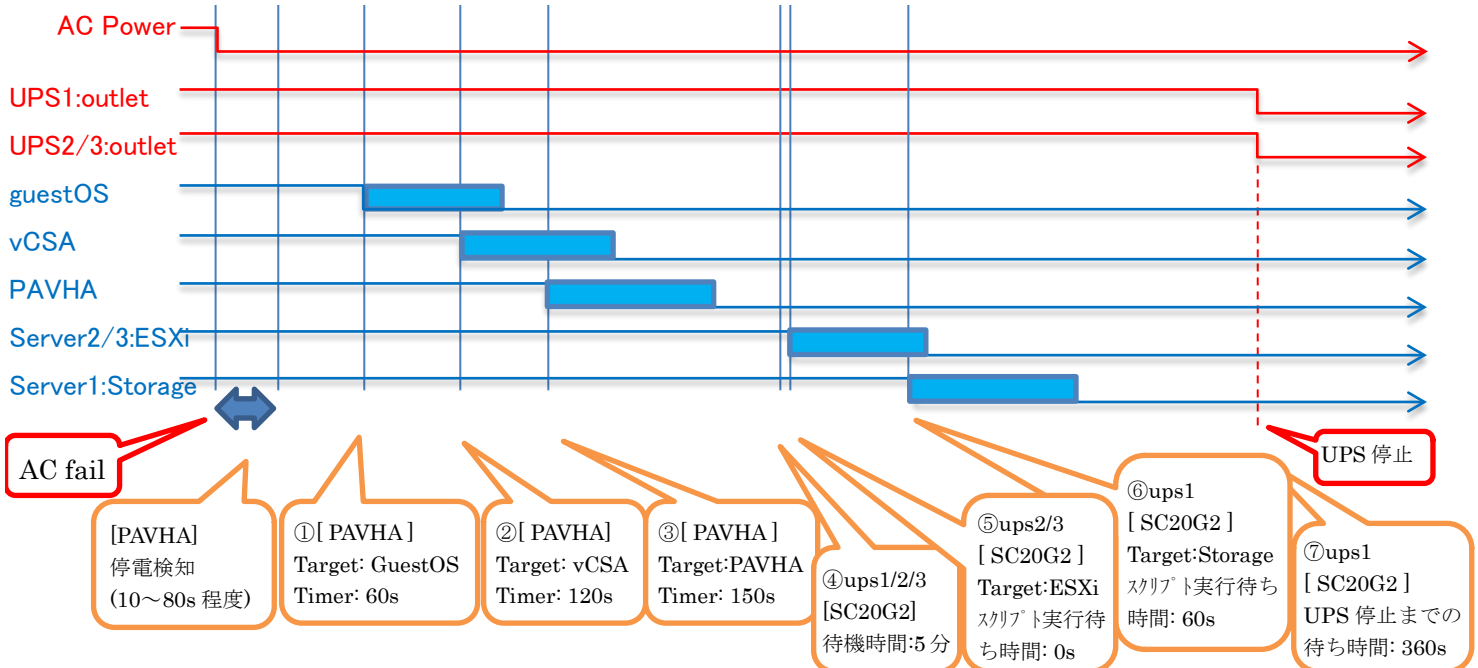
ESXiホスト2台とストレージを3台の別々のUPS電源で構成。UPS1台当たりの負荷を軽減し、独立した空間に設置可能。

▼構成図の説明

- ・AC電源の停電発生時にストレージを含む本構成全体をシャットダウンする。
- ・停電発生後、PAVHAがゲストOS、vCenter Server Appliance (以下、vCSAと記)、PAVHAの順にシャットダウンし、その後SC20G2がESXiホスト、ストレージの順にシャットダウンする。なお、シャットダウンの順番についてはPAVHAとSC20G2のタイマーで時間差を設定する。
- ・各UPSはサーバ1台のみに電源を供給するため、容量を抑えた安価なUPSの選定が可能。

▼動作シーケンス図

◆タイミングチャート(AC電源の停電発生によるスクリプトシャットダウン)



9.ストレージ用シャットダウンスクリプトの例

<NetApp Clustered data ONTAP8.3>

rcv=login:

snd=\$u1

rcv>Password:

snd=\$p1

rcv=::>

snd=system node halt *

rcv={y|n}:

snd=y

rcv={y|n}:

snd=y

rcv={y|n}:

snd=y

rcv={y|n}:

snd=y

<MSA>

rcv=login:

snd=\$u1

rcv>Password:

snd=\$p1

rcv=#

snd=shutdown both

rcv=(y/n)

snd=y